

# 帽子がおしゃれ

## 若者中心に人気広がる

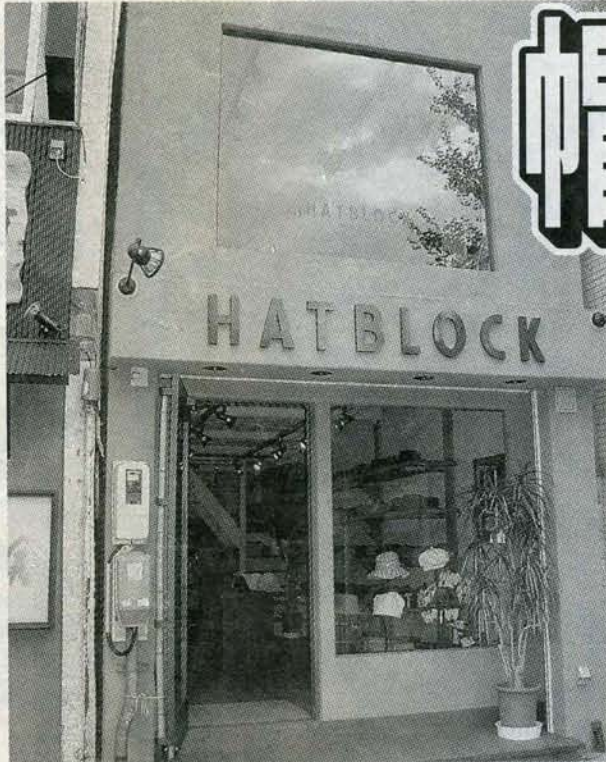
### イメージチェンジ、個性表現

若者を中心に、ファッションアイテムとしての帽子が注目されている。そんな中、名古屋地区では珍しい、デザインから製造、販売までを手掛ける帽子専門店「HATBLOCK（ハットブロック）」が十月下旬、大須通にオープンし、幅広い年代から人気を集めている。

#### 専門「ハットブロック」

おしゃれな帽子の数々がディスプレイされたウインドー。ビルの一、二階の店内には、布やニットの帽子、型押しする帽体と呼ばれる帽子など、五十種類が展示販売されている。それぞれ素材や色のバリエーションも。二階には帽子好きあがれのアメリカ・ノックス社製のデッドストックのニ

ユーロクハットもあって、品ぞろえが豊富。価格は千九百円から二万円ぐらいまで、中心価格は三千九百〜五千九百円と、手ごろなものも特長だ。「商品の九割はオリジナルです。店の六人のスタッフが全員が帽子作りの職人ですから、それぞれが企画、デザインをしています」と



ギャラリーと工房を兼ねたハットブロック

話すのはオーナーの山田英之さん(右)。名古屋で帽子の製造卸を手掛けて創業八年という、ギャラリーと工房を兼ねた店にしました。十二年という老舗の三代目。蓄積された経験と技術を集結して、初の直営店を



オーナーの山田英之さん(2階の工房で)

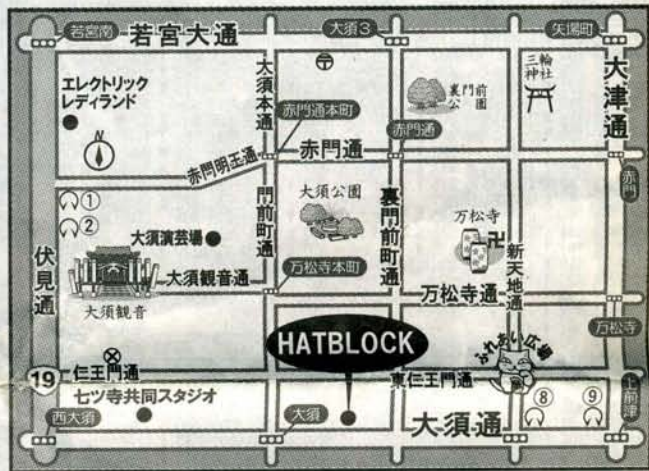
持った帽子を作って直接お客様に売ることができるところに、ギャラリーと工房を兼ねた店にしました。出店の狙いを語る。「この数年の帽子の

人気。「東京の裏原宿から明治通にかけて二十七軒もの帽子店があるんです。よく街角で写真を撮ったが、ウオッチングするんですが、東京では七割ぐらいの人が帽子をかぶっています。それぐらいおしゃれに欠かせないものになっています」と山田さん。さらに最近では他業種からの参入も相次ぎ、帽子市を賑やす。

開店からほぼ一カ月、「予想していたよりも幅広い年代のお客さまが来店されます」と手応えもますます。

そんな帽子のプロ、山田さんにあらかじめ帽子の魅力を聞くと、「帽子をかぶることでイメージチェンジができること、個性の表現でもあります。」

さらに、お好みの帽子や選び方もアドバイスしてもらった。「今ならハンチン



グがお薦め。色や素材、微妙な形の違いで雰囲気も変わります。似合う帽子を探すには、とにかくいろいろ試してみる事です。そして、自信を持ってかぶってもらいたいですね」  
ハットブロック 大須3の40の37 ☎(052)259・3688 午前11時〜午後8時 無休

## だわりの本物志向

### デザインから製造販売まで



デザインや素材、カラーが豊富なオリジナルの帽子